

## 緩和ケアチーム (PCT : Palliative Care Team)

### 【メンバー】

医師 (外科、内科)、看護師 (緩和ケア認定看護師)、薬剤師 (緩和薬物療法認定薬剤師)、理学療法士、管理栄養士

### 【活動内容】

週 1 回、緩和ケアラウンドおよび緩和ケアカンファレンスを実施しています。

緩和ケアラウンドでは、医療用麻薬を使用している患者を抽出し、病棟看護師と情報共有しながら、医療用麻薬適正使用に向けた助言をしています。回診後のカンファレンスでは、入院患者だけでなく、PCT への介入依頼があった外来患者についてもチームメンバーで情報共有し、必要に応じた対応を検討・実施しています。

院内での緩和ケアの普及と質の向上を目的として、「緩和ケアニュース」を不定期で発行しています。また、オピオイド換算表や疼痛・症状コントロールに関連する薬剤の採用薬一覧などを載せた「緩和ケアポケットマニュアル」を作成し、医師や各部署に配布しています。

年に 1~2 回、職員を対象に院内緩和ケア研修会を開催しています。

### 【薬剤師の役割】

医療用麻薬の適正使用に向けて、PCT 薬剤師と病棟薬剤師で情報を共有し、連携を図っています。がん認定薬剤師や外来化学療法室の看護師と連携し、主治医の許可の元、がん化学療法を施行している外来患者さんへの面談も行っており、入院・外来問わず、フォローアップするよう努めています。

医師や看護師からのコンサルテーションは随時受けており、オピオイドスイッチング時の用量換算やタイミング、腎肝機能に応じた鎮痛薬や適切な用量、症状コントロールのための薬剤などを提案しています。

近隣の保険薬局とともに緩和ケアに特化したトレーシングレポートである「緩和ケアフォローアップシート」を共有・活用することで、地域との連携も図っています。